



発行所
長野県下伊那郡高森町
下市田 高森町公民館
発行人
大 洞 利 雄
(0989-3200) ☎35-8211
印刷所
龍共印刷株式会社



町民運動会 山吹会場 応援大賞

虎っしーが大活躍!!

(新田分館)



ふだうライント



今年度より飯田広域消防本部の職員として働いております宮嶋由洋と申します。

私は消防士として働くにあたって、誇り・情熱・思いやりを持って取り組んでおります。

配属されて間もない、まだまだ未熟な身の私ではありますが、人の命を救いたいという初心をいつまでも忘れることなく、常に向上心を持って日々訓練に励み、住民の皆様の安全・安心の確保に努めて参る所存です。

宮嶋由洋 (吉田)

山吹会場

競技に二喜二憂



10月13日(日)に北小学校グラウンドにて町民運動会(山吹会場)が開催されました。天気は雲ひとつ無い晴天となり絶好の運動会日和となりました。山吹会場では全部で7つの地区が参加しました。

本年度は、高森町のご当地キャラクターの柿丸くん

が駆けつけて、会場を盛り上げてくれました。最初の種目の借り物競走では、借り物の中に柿丸くんも含まれており、一生懸命グラウンドを走る柿丸くんの姿を見ることができました。

対抗種目では子どもから大人まで様々な年齢層の人が参加して楽しみながら、時に真剣になりながらの運動会となりました。

また、各地区で工夫を凝らした応援が行なわれ、応援合戦は見ていただけで面白いものでした。

運動会の結果は、総合優勝が山吹中で、惜しくも1ポイント差で上平が準優勝でした。

山吹中は本年度で3連覇を成し遂げたそうで、大縄跳びも市田会場も含めてダントツの1位の50回を記録しました。

市田会場

選手と応援が一体となった



平成25年度高森町町民運動会(市田会場)は、10月13日に高森南小学校で盛大に開催された。



4人で見事な選手宣誓! (吉田南分館)

秋晴れの下、14分館の町民の皆さんが参加し、華やかな応援と競技が開催された。開会式は、入場行進に続き聖火入場で聖火台に火が灯されると、運動会の雰囲気盛り上がり、仲平実行委員長の開式のこたば、選手宣誓、準備体操を行い、運動会が開始された。

2年に一度の町民運動会ですが、各地区での競技種目や、応援合戦など、とても面白く、良い地域交流の場となったと思います。



心あわせ・足あわせ

た。各分館の応援団によるユニークで元気な応援が始まり、雰囲気益々盛り上がった。午前の部は、貯蓄りレー・障害物リレー・保育園児によるかわいらしいダンス・アベックで600歳・紅白に分かれた綱引き・小学生以下による玉入れ・大綱跳びの7種目が行われ、採点種目は、選手と応援団が一体となった競技が展開された。午後は、大玉送りやむかで競争等が行われ、運動会の最後を飾る女子と男子の分館対抗リレーは、最高の見せ場となり、抜きつ抜かれつの白熱したレースとなった。成績は、吉田南と下市田5区が61点の同点で1位を分け合い、3位は上市田が栄光を掴んだ。応援団にも、「えがお賞」や「華やか賞」等の表彰があった。全員による万歳三唱で、運動会は成功裡の内に終了した。

三面鏡

JR東海の無人化方針を受け、4月から市田駅を無人にしたため、豊丘村と人件費や光熱費などを負担し有人化を継続している。

町では利用者にアンケートをとり、町費の負担の是非を探っている▼10年前になるか、娘は飯田線を使い、小1時間かかる高校へ通学していた。夜8時過ぎの市田駅着を、眠り込んでいて降り過ぎ、こちらからの携帯電話も応答がない。迎えに行った家族があわてて飯田駅に連絡したところ(そのころは改札口に緊急連絡先TEL飯田駅の表示がありました)、駅員さんが忙しい中快く、「今ホームに到着したので見てみます」と対応してくれ、眠り込んでいた娘を起こし、乗り越し料金は不要と飯田駅で降りしてくれ▼人の温かな対応は、過去の良き時代のこととなりつつあるのか。リニアの話が騒がしいが、とかく日本はソフト面よりハード面ばかりに力が入る。しかし、私たちが支払う対価として企業が安全・安心を提供するのは当然の義務である。百歩ゆずって、高度な技術のいるメンテナンスは企業に任せよう。経済活動で効率がわるいと切り捨てられるもの、弱いもののためにこそ、公共のお金は使おう▼未来の銀河を旅する列車の話を思い出した。車掌はいるが、駅でだれも迎えてはくれない、送る人もいなかったことを。生身の人間には淋しくて耐えられそうにない。

論 説

JR東海による中央新幹線環境影響評価準備

書説明会が、10月11日町民体育館で行われた。環境影響評価法に基づき、公害・生態系・景観・環境負荷などへの影響を予測し、それらに対する意見聴取が主目的とされる。

他地区の会場では大変混雑したようなので、余裕を見て開会40分ほど前には到着したが、参加者の集まり具合はまばらな感じだった。会場内できっと見た参加者も百数十人といったところ。開会

「中央新幹線」

今後、JR東海は意見書の提出を募り(11月5日締切)、その意見に対する見解を知事と関係市町村長に送付する。これを受けた知事は、関係施設の設計を行う。手前は煩

因して未完成となった中津川線の例もある。JR東海は知事の意見を受け環境影響評価書を作成、知事が工事実施計画を認可すると、用地交渉を経て測量と路線と周辺

世界に一つだけの花 が咲きました！

育種寺子屋高森分校N旧下市田学校



9月28日(土)、「花とあそび」主催による育種寺子屋の講座が旧下市田学校で行われました。この講座は小学生を対象とし、園芸研究家矢澤秀成先生の指導のもと、9色のペチュニアの中から好きな色を選び、その花粉を白いペチュニアにつけて交配させ、世界に一つだけの自分だけの花を咲かせようというものです。4回目となるこの日は5月から大切に育ててきたペチュニアを持ち寄り、自分のお気に入りの花とその理由を一人ひとり発表しました。レインガ色の花が気に入っている小学生に「他

るで自分が褒められているように嬉しそうな表情の子どもたちでした。また、ペチュニアの模様や形、葉の種類等、多量類で奥深いことも知りまし。次回は12月8日に終了式を行います。



自分の育てた花と一緒に全員で記念撮影

10月19日に愛知大学地域政策学部2年生の皆さん67人が、高森町にフィールドワーク(現地調査)に来ました。

飯田下伊那14市町村で構成する南信州広域連合と愛知大学との学術連携の一環で、高森町では昨年に続き行われました。今年も、10月1日に愛知大学で町の担当者がフィールドワークの事前講義を行い、アグリ交流センターの活用・町の広報など5つの分野でグループに分かれて、現地視察や関係者の講義を受けました。

町の広報については、実際に高森町の広報を手に取りながら説明を受け、「自

高森町でどどんとこころ？

愛知大フィールドワーク



多くの愛知大学生が参加(全体説明の様子)

分たちならどんな広報を作るか考えて、実際に作ってみて下さい。」と学生の皆さんに課題が出されました。また、広報するうえで町の様子を知ってもらうことも大切とのこと、役場や南小学校など見て回りました。

あいにく肌寒い天気となり、学生の皆さんは寒そうでしたが、熱心に見て聞いて学んでいました。

今後の予定は、大学にて調査したことをまとめ、12月に町に向けて政策提言を行う予定です。

ほとんどの学生が高森町に初めて訪れたとのこと。見ず知らずの土地や人に何を感じ、何を思い、何を考えるのか、若い力に期待したいです。

新婚さん今日は

今回ご紹介する新婚さんは山吹上にお住まいの寺澤泰幸さん、あかねさんご夫妻です。お二人は昨年7月に泰幸さんの職場の方からの紹介で出会いました。お互いの印象を泰幸さんは「話しやすい人」「あかねさんは、穏やかな雰囲気の人」と感じました。神奈川出身のあかねさんは、5年前から度々飯田市主催のワーキングホリデーに参加し農業を手伝う中でこの地がますます好きになり、ついには3年前にお父様の郷土である下伊那に永住することを決めたそうです。お二人の好きなスキーに野沢温泉に行ったときには、これからは一緒にスキーを楽しんだり、たくさんのお互い出を作っていきたいと語り合われたそうです。また、食事をしながらお互いのことやこれからやりたいことを語り合い交際を深め、今年の9月23日に結婚式を挙げられました。披露宴では趣向を凝らしケーキ入刀に替えてくださいました。



寺澤 泰幸さん(山吹上)
あかね

結婚されてから泰幸さんは、朝食をきちんと食べるようになり、お昼はあかねさんの手作りのお弁当を持参されるようになった。お弁当には時々メッセージが入っていたり、おにぎりの中身あてクイズもあるそうです。

柿の時期は収穫から携われることを楽しみにしていると笑顔で話してくれるあかねさんを優しく見守る泰幸さんがとても印象的で、「2人で見つめ合うことより、同じ方向を見て一緒に進んで行くことが大切」という言葉が胸に響きました。

末永くお幸せに。



グループに分かれ現地視察の様子

災害時に協力できる体制作りを 下市田4区女性ふるさと炊き出し訓練

9月8日(日)下市田4区生活改善センターにて「炊き出し訓練」が行われました。女性ふるさと係が準備、呼びかけを行い、当日は42名が参加しました。

下市田4区には災害時に核となる女性団体がないため、今年以降も「女性ふるさと」の活動を継続していくことになりました。係員が中心となつて毎年防災訓練などを行うことで、地域の女性が非常時に協力して活動できることを目的としています。

今回は係員が物品の準備・炊飯までを行い、参加者は手際良くおにぎりを作る参加者のみなさん



手際良くおにぎりを作る参加者のみなさん

地球温暖化防止活動 73 経済成長と温室効果ガス削減は可能

たかもり環境塾

EUでの温室効果ガス削減は、目標(京都議定書の1990年比で8%の削減)に達したと報告されました。しかも経済は45%の伸びを示しています。日本では目標の6%削減どころか、3.7%増加させています。しかし、再生可能エネルギー関連の技術革新は急速に進んでおり、そのひとつに燃料を使わないで回転するスターリングエンジンがあります。これは温度差を利用して動かすもので、実用化も始まっています。「手のひらの温度でも動かすエンジン」を町のふるさと祭りなどで展示したいと思っています。そのほかに、

2つの班に分かれて日赤奉仕団の「炊き出し訓練手順」に従っておにぎりを作り、ラップに包んだおにぎり2個と漬物を1セットにして新聞紙に包装し、スタートして約15分で90人分の非常食が完成しました。その後、全員でおにぎりの試食をしながら感想や反省点を出し合いました。米5升という大量の炊飯のために水加減が難しく、硬く芯のあるご飯になったことが大変残念でしたが、